

グループ討議 課題

テーマ:コンテンツの集め方

グループ名 [3H]

2018年度機関リポジトリ新任担当者研修



JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会

【課題設定の理由】

1. コンテンツ 特に学外の刊行物について、どのように収集していいか困っている。
2. 教員からの積極的な提出がない。

コンテンツが集まらない……。



【解決策】

1. 全体に向けての広報
 - ・マニュアル作成
 - ・図書委員会での広報



リポジトリって何じゃね？

先生にとってもいいことばかりなんですよ。



【解決策】

2. 個別の広報

- メールでの依頼
- 知り合いの先生に直接依頼
- 学術誌で見つけた論文の執筆者の先生に依頼する
- CiNiiなどで論文を調べる

あ～！〇〇先生の論文があった！
頼んでみよう！！



【解決策】

3. オープンアクセスを義務化する。

(なかなかハードルは高いかも)

論文を書いたらリポジトリにアップするって決められないですか？

教授会で検討してみよう。



【期待できる効果】

教員にとっては

学術誌の読者だけでなく、世界中に論文を届けられる

論文引用率も高まる

研究成果がデジタル保存される

大学にとっては

大学の教育・研究成果を発信できる

広く社会へ公開することにより社会貢献できる

学術交流に寄与する

知名度の向上が期待できる



図書館にとっては

コンテンツが充実

アクセス数やダウンロード数が増える。
やりがいを感じられる！

研究者との対話により、理解が深まる。図書館サービスのヒントを得られる

他部署との対話により理解が深まる

学生にとっては

高額であったり、所属大学図書館では所蔵していない学術雑誌掲載の論文全文を読むことができる

ゼミを選択する際に、担当教員がどのような分野に精通しているのか確認するのに十分な情報源となる

